

同窓会
記念
文

六四
九四

同窓會長 根崎 育郎

この度、度会会長の後を受けて同窓会長を引き受ける事となりました、よろしくお願ひいたします。

昨年5月には記念式典「岩木高専70周年記念式典」が開催されました。私も式典に参加させられて頂きました。その結果が今回同窓会長を引き受ける事となつた様です。

私は岩村高等学校の卒業生です。子供達は皆、明智商業高等学校の卒業生です。子供が在学中にはPTAの役員で学校の活動に協力させて頂き

年度	定員	入学者
27	120	57
28	120	74
29	80	60
30	80	62



回想そして未来に向かい地域と熱く

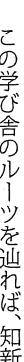
校長林尚志

現在では学校の状況もずいぶんと違つて来ております。特に入学者数の減少と
57
74
60
62

か	地元中学生の
減少とか、本校の	存続に大きな影響を与えて来ています。
定員	120
年度	27
80	120
80	29
80	30

現在の恵那南高等学校は、小規模化が進む県内10校にも数えられており（他東濃地区に3校有り）生徒の獲得が急務となつております。

同窓会としましては、恵那市内の各中学校長に卒業生の受入をお願いして廻る活動も続けております。又3校



である。(以下略)

その知新館から幾多の変遷を経て、約一百三十年後の昭和二年に岐阜県立南實科女學校が設立され、昭和二十三年の学制改革により、岩村高等学校に移行された。文教の町岩村と呼ばれた所以がここにある。その後、岩村高等學校として八十年、恵那南高等學校岩村校舎として二年の計八十二年間、教育の場として生き続けてきたのである。(以下略)

さらに、本年度からは、県教育委員会より一つの指定事業を受け、教育活動をより充実をさせるための施策を実施しています。その一つは、地域とともににある学校づくりを目指す目的で、学校運営協議会(別名:

今後とも恵那市南部に生き続けて
いる教育の歴史と伝統を受け継ぎ、
小規模校ですが元気な学校づくりに邁進
さらに、魅力ある学校づくりに邁進
していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

の同窓生の皆様におかれましては是非皆様のお子さんやお孫さんに恵那南高等学校をお勧め頂くようお願いいたしたいです。

又地域の皆様におかれましては、(地域サポート募集)を開始いたしました。募集用紙が各戸に配られた

と思ひます。地域に無くてはならない学校の存続の為にも、皆様の応援をよろしくお願ひいたします。

今後も会報の発行や、生徒表彰等の活動を行つていきたいと思つておられます、が、運営の為の資金は厳しくなつて来ています。今までと同様に恵那高等学校同窓会發展の為、会員の皆様の温かいご支援、ご協力を賜ります様、よろしくお願ひいたします。

たので、様々な事情が掲載できる点においても、この地に勤めさせていただけるのはとてもありがたいことです。また、昨年五月二十七日には、創立十周年記念式典を挙行することもできました。無事、記念式典が挙行できましたことは、度々敏彦前同窓会長をはじめとする同窓会員の皆様方、学校を支えていただいてる恵那市南部地域を中心とした多くの皆様方のおかげであり、改めてお礼申しあげます。

座はおきましては、東京にある文学座の演出家や俳優をお招きして、年三回のワーケンショップを実施しました。自己表現を通して、コミュニケーション能力や自己表現能力の向上を図ることができ、とても好評でした。この事業も今後数年間は継続して実施することになつております。加えて、「地域が地域の高校生を育てるプロジェクト」として、明智町や恵那市南部の方々を中心として恵那市内全域の方々に、二つの提案をさせます。

の連携を深めるとともに、一昨年から
は恵那市と恵那川上屋と本校の間で
三者協定を結び、6次産業学習に
も力を入れています。平成三十年度
は、生徒が考案するケーキバイキン
グや明智小・中学校の給食メニュー
を考えたりするなど、6次産業学習
の幅を広げ、主体的な生徒の取り組
みを重視した活動を行っています。
さらに、本年度からは、県教育委員会
より二つの指定事業を受け、教育
活動をより充実をさせるための施
策を実施しています。その一つは、
地域とともににある学校づくりを目指
す目的で、学校運営協議会(別名:

でした。後者については、明智振興事務所を窓口として、応援サポートを募りました。八月の恵那市広報にも、募集のご案内をさせていただきました。おかげさまで、応援サポートは一ヶたの数に達しておりますが、まだまだ、多くの方々に支えていただきたいと願っております。同窓会員の皆様におかれましては、その趣旨をご理解いただき、積極的なご参加をお待ちしております。

今後とも恵那市南部に生き続けていける教育の歴史と伝統を受け継ぎ、小規模校ですが元気な学校づくり、さらに、魅力ある学校づくりに邁進していくたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

発行
恵那南高等学校同窓会
〒509-7793
恵那市明智町41-2
[http://school.gifu-net.
ed.jp/enaminami-hs/](http://school.gifu-net.ed.jp/enaminami-hs/)
TEL(0573)54-2537
FAX(0573)54-4652

印刷・デザイン
株式会社サラト

さて、前述したこの文章は、平成二十一年六月に、勤務した学校のことを振り返って書き綴った記録の一編です。その後八年の月日が流れ、平成二十九年四月、恵那市南部にある恵那南高等学校に校長として赴任することとなりました。以前勤めた地域でもあり、統合にも携わっていたので、様々な事情が把握できる点においても、この地に勤めさせていただけるのはとてもありがたいことです。また、昨年五月一十七日には、創立十周年記念式典を挙行することができました。無事、記念式典が挙行できましたことは、度会敏彦前空会長をはじめとする同窓会員の皆様による活力ある学校づくり推進事業の指定を受け、地域と一緒にとなった教育活動を進めていきます。特に、開拓方、学校を支えていただいている那市南部地域を中心とした多くの皆様方のおかげであり、改めてお礼申し上げます。

しかしながら、少子化・過疎化の波が押し寄せ、現在全校生徒百八十七人の小規模校となりました。現在は、県教育委員会から「地域連携による活力ある学校づくり推進事業」の連携を深めるとともに、一昨年からは恵那市と恵那川上屋と本校の間で三者協定を結び、6次産業学習にも力を入れています。平成三十年卒業生は、生徒が考案するケーリバイキンや明智小・中学校の給食メニューを考えたりするなど、6次産業学習の幅を広げ、主体的な生徒の取り組みを重視した活動を行っています。

さらに、本年度からは、県教育委員会より二つの指定事業を受け、教委活動をより充実させるための施策を実施しています。その一つは、地域とともににある学校づくりを目指す目的で、学校運営協議会別名

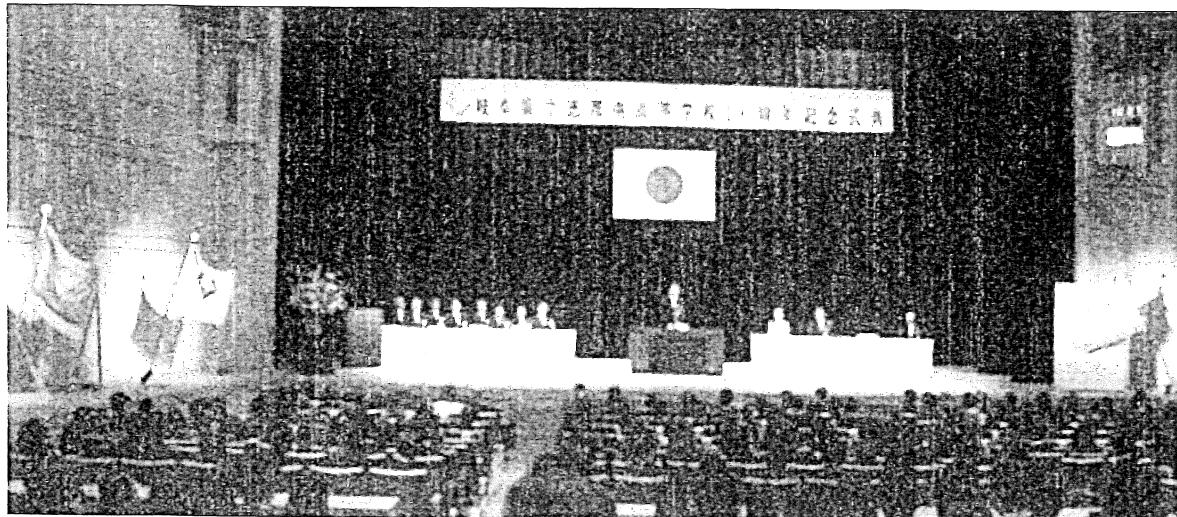
目的とした演劇ワークショップ事業協議を重ねておられます。一つ目は、生徒のコミュニケーション能力育成を目的とした演劇ワークショップ事業です。前者は、同窓会役員の方にも委員になつていただき、貴重なご意見・ご提案をおうだいており、教育活動三回のワークショップを実施しました。この事業も今後数年間は継続して実施することになります。

加えて、「地域が地域の高校生を育てるプロジェクト」として、明智町や恵那市南部の方々を中心として恵那市内全域の方々に、二つの提案をさせていただきました。具体的には一つ目として、スタディーサポートという観点で、明智駅周辺に自学自習ができる学習スペースを設置していくただく。二つ目には、地域連携を深めるために、恵那南高校の応援サポートになつていただき、という提案でした。後者については、明智振興事務所を窓口として、応援サポートを募りました。八月の恵那市広報にも、募集のご案内をさせていただきました。周知しましたおかげさまで、応援サポートは一ヶたの数に達しておりますが、まだまだ多くの方々に支えられています。また、ご理解いただき、積極的なご参加をお待ちしております。

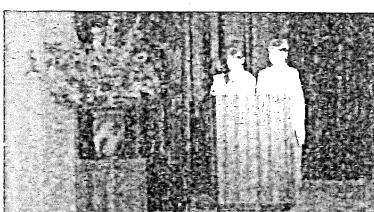
今後とも恵那市南部に生き続けていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

岐阜県立恵那南高等学校

創立10周年記念式典



- 【式次第】
- 1 開式の辞
 - 2 国歌齊唱
 - 3 同窓会長式辞
 - 4 校長挨拶
 - 5 教育委員会挨拶
 - 6 感謝状贈呈
 - 7 来賓紹介
 - 8 来賓披露
 - 9 生徒代表挨拶
 - 10 校歌齊唱
 - 11 閉式の辞



このたび、月村時子岐阜県教育委員会
教育委員様、水野正敏岐阜県議会議員、
小坂喬峰恵那市長、蛭川義高岐阜県高等
学校長協会長をはじめ、多くのご来賓の
皆様にご臨席いただき、岐阜県立恵那南
高等学校創立10周年記念式典を盛大に開
催することができました。また、記念講
演として、岩村高等学校卒業で元恵那郡
岩村町助役の花田美晴氏に「活力ある地
域づくりのために」として講演をいただ
きました。

永年勤続	奥村直之
太田和彦	水野義久
木村佳嗣	根崎育郎
安藤和昭	松井千明
光岡郁雄	藤本勝彦
伊藤浩美	藤岡正也
日比野聰	丸山庸一郎
加藤智子	西尾安正
伊藤浩雄	鈴木孝司
安藤和昭	堀尾佳裕
光岡郁雄	石川裕章
木村佳嗣	
深瀬和也	
小島光示	
加藤和郎	
小川信和	

歴代PTA会長	大島誠示
水野義久	小木曾弘康
根崎育郎	堀保彦
松井千明	安藤学
藤本勝彦	西尾正督
藤岡正也	伊藤博之
丸山庸一郎	岩崎三男
西尾安正	三宅育雄
鈴木孝司	伊藤秀樹
堀尾佳裕	
石川裕章	

歴代同窓会長	6名
小澤建男	梅村吾三
森部康宏	西久保成樹

開校時に制定された校章に代表される
ように本校の精神は、本校の前身である
岩村高等学校と明智商業高等学校の伝統
を受け継ぎ、「温故知新」「百鍊成鉄」とい
う言葉に集約され、今も恵那市南部に
脈々と生き続けています。
多くの方に支えられ、10周年を迎えた
時に感謝しつつ、移り行く時代の中
で、今後も伝統の精神が受け継がれ
いくことを願っています。



同窓生便り

駅伝競技と共に駆け抜けた私の高校生活

可 知 良 商 (岩村 昭和44年卒業)



中学校の担任の先生より、「君は岩村高校へ行きなさい。」と言われ、岩村高校を受験することとなり、入学が決まった。入学式の後、職員室に呼ばれ、陸上部の監督の永井先生からは「3年間やめんようになつてくれ。」とだけ言られた。後で分かった事は、岩高の先生が走れる子を探していたこと。私は何も知らないが、とにかく高校へ入ったからクラブ活動は陸上をやるつもりだった。

陸上部員になり1年生の5月に、春の大会で岐阜県営グラウンドで1500m障害物競走に出るよう言われ、走つたこともない競技でスタート。この時の拍手は大きなものだつたが、私は恥ずかしいより情けない気持ちでいっぱいだった。しかし、

陸上をやめようと思つたことは、一度もなかつた。

夏が終わり秋から冬にかけて駅伝のシーズンに入り、その頃にやつと私も体が慣れてきて、駅伝のメンバーに入れることとなつた。1年目は5区、7区、アンカーと、色々な区間を経験し、2年生以降1区を走ることになつた。思い出す練習は、4kmのタイムトライアル(約12分)だ。普段は国道257号線、今のおよねさんから飯羽間、駅へ右折の所で折り返す。たまに小沢街道を下り、恵那東野まで折り返し、帰りは登り坂となることも。中橋を通る頃には暗くなり、心細くなることもあつた。約20km走つて学校へ帰り、更にグラウンドでの長距離練習2時間。200mのトラックは変化もなく、飽きてしまつたこともあつた。



第19回全国高校駅伝競走大会



第18回 全国高校駅伝競技大会

また先輩の練習の熱意はすごかつた。私が1年生の時、3年生の先輩の一人が、足の故障で休まなくてはならないが、「自分は練習がしたい」とコースを反対方向に走つて、監督が竹刀を持ちながら「走るな!」と大声で追いかけていたのには、とても

も驚いた。だが私も2年生の全国大会の前に、校内球技大会で怪我をしてしまい、バレないように練習したことがある。結局、膝が悪化して、大会当日、監督に町医者に連れて行つてもらい、痛み止めの注射を打つて出場した苦い思い出がある。

第1回 全国高校駅伝 1950年(昭和25年)12月27日
大阪、毎日新聞本社前着 6区間32km 出場校45校
第3回 全国高校駅伝 1952年(昭和27年)
マラソンと同じ42.195km 7区間

第15回・16回 1964年(昭和39年)1965年(昭和40年)
大阪長居陸上競技場
第17回 1966年(昭和41年) 京都市西京極マラソンコース
全国の各都道府県に於いて予選を行い各優勝校が代表として全国大会に出場

当時岐阜県の代表高校 5年間
大阪長居陸上 第15回 1964年(昭和39年)12月27日
斐太実 57校中26位 2時間18分35秒
第16回 1965年(昭和40年)12月25日
岩村 57校中23位 2時間16分50秒

京都西京極 第17回 1966年(昭和41年)12月25日
斐太実 46校中34位 2時間21分37秒
第18回 1967年(昭和42年)12月24日
岩村 47校中19位 2時間17分48秒
第19回 1968年(昭和43年)12月29日
岩村 46校中17位 2時間17分03秒

昭和43年度 駅伝出場
昭和43年11月18日 全国高校駅伝県予選 岐阜市～関市 折返し
昭和43年12月1日 東海高校駅伝 4県×6校 24高校 浜松市
昭和43年12月8日 岐阜駅伝 一般大学、高校全日制、定時制
昭和43年12月29日 全国高校駅伝 京都市
昭和44年1月15日 岐阜日日都市連絡駅伝 多治見～岐阜市
昭和44年2月24日 東濃駅伝 中津川～多治見

人生4分の1の貴重な時間

安藤範和（明智商業 昭和60年卒業）



中学時代、
代、消極的で真面目だけが

任、学年の先生方が「将来は地元に残つて貢献する人材として」という将来像を描いてご指導ください、明智商業高校に入学しました。

高校でも消極的な性格は変わりませんでしたが、先生方が様々なか場面で活動の場を与えてください、そこで得た多くの経験が今自分につながつていることを実感しています。

生徒会長として取り組んだ3年生最後の白鷹祭。部活動と生徒会活動、多くのことに掛け持ちをして大変でしたが、仲間と共に成し遂げた達成感や、応援団席を飾るパネルを担当し、終戦40年をテーマにした絵を描いたことも良き思い出として心に残っています。

部活動は陸上部。先輩方が東海高校駅伝大会優勝の輝かしい成果を残された5年後に入学し、入

学当初の同学年の長距離部員は2人でした。私自身は思うような結果を残すことはできませんでしたが、良き先輩や後輩にも恵まれ、励まし合いながら練習に取り組んだ日々、駅伝の練習になると、学校を出発し、陶町猿爪から山岡の下手向、そして山岡駅前交差点を右折して学校まで戻るという約18キロのペース走、コースのほぼ中間地点にある自宅の近くを通るたびに「このまま帰宅できたら」と思ひながら走っていると、近所の方々が「頑張って！」と声を掛けてくださり、走る力をいただきました。在学中に日本大正村が立村され、初回の大正村クロスカントリーに出場し、団子杉までの折り返しコースを走ったことも思い出です。

教員となり5年目となる平成6年度からの9年間、母校に戻つて勤務する機会をいただきました。当時から「怒の心」を大切にし、地域に密着した取組が行われており、今も引き継がれています。高校では、資格勉強はもちろんですが、実際の会社を想定して取引を行つたり、自分たちで地元の

高校時代の思い出

小木曾太一（恵那南 平成24年卒業）



私は平成21年に恵那南高校へ

入学しました。私が入学する2年前に明智商業高校と岩村高校が統合し、新しくできた高校ということもあり、一体どんなことが学べるのか、期待半分、不安半分で入学した記憶があります。

結果として、入学してよかつたと思っていました。私は簿記が勉強したい、そう思つて入学をしました。（簿記は苦手という人が多かつたのですが）初めて簿記を勉強して、なんて面白い科目なんだ、と感動したのを覚えていました。恵那

理職を中心とした職員の姿がありました。平成10年には創立50周年を迎えて、記念誌を担当し、記念誌を担当し、改めて50年の歴史の重みを実感しました。

母校で得た12年間の経験と貴重な時間を大切にし、今後に生かしていきたいと思っています。

3年前に仕事でお世話になつた際には、校舎の玄関の段差に躊躇、まさかの右膝骨折、先生

方には大変な迷惑をお掛けしてしまいました。現在は、少しずつですが走れるまでに回復し、機会があれば大正村クロスカントリーに参加して楽しく走れたらと思っています。

習に励み、練習が終わつてからも自主練をしたりと、部活動に明け暮れました。上位の大会に勝ち進むことはできませんでしたが、それでも、試合に勝てた時は本当にうれしかつたです。2年生の後半からは部長としてチームを引っ張る立場となりました。どういった練習をしたらチームが強くなるのか、勝てるようになるのか、苦労ももちろんありました。それが結果に結びついたときは、部長をやつてきてよかつたなと思いまし

た。

現在は地元を離れ、勉強した簿記を生かして、税理士として働いています。その根底には、高校時代で培つた知識・情熱があると思います。現在は地元を離れていますが、修行期間が終わつた後は、いつか地元へ帰り、自分の事務所を構えたいです。

高校時代は人生のうちのたつた3年間、ですがそれほど3年間。この3年間は私の人生の転換期であり、私の人生は大きく変わりました。

恵那南高校トピックス

Topics

野球部

平成28年当初、野球部員は1年生の2名。本校の生徒数減少に伴い野球部の生徒数も大きく減少していった。県内の高校と合同チームを組みなんとか試合ができる形であった。4月入部希望者は3名。そこで素人を含めなんとか人数を集め合計9人の野球部となつた。なかなか勝利を手にすることができなかつたが平成29年に新入生が5名入部し14名の部活動となつた。秋季大会では約7年ぶりとなる公式戦勝利を手にし、快進撃を続け県大会の決定戦にまで出場した。県大会出場まではならなかつたが大きな自信を手にることができた。今後も地元に根付いた野球部であるように頑張っていきたい。



スケート部

平成28年度スケート部インターハイ出場!

3年B組鈴木海斗君、河田華恋さんの2名が、県内の予選会を勝ち抜き、全国大会の切符を手にしました。1月19日～23日に栃木県日光市で行われた、第66回全国高等学校スケート競技選手権大会に出場し、鈴木君は1000mと1500m、河田さんは500mと1000mを滑走し、最後まで全力を尽くしてきました。人数が少ないので、これからも頑張っていきます。



陸上競技部



H28、H29 実績

陸上競技では、年間に3度県大会を勝ち抜き東海大会以上の試合に進出するチャンスがあります。5月に行われるインターハイ東海予選会、8月に行われる東海選手権大会、10月に行われる東海新人陸上大会の3つです。28年度は、東海新人のみの出場でしたが、29年度は3大会すべてに参加することができます。その主な、競技としては、

砲丸投・円盤投・やり投・棒高跳の4種目です。※結果は欄外
東海大会では思ったような記録が残せず、全国大会に進むことや入賞することはできません。でしたが、東海大会に参加した選手は、試合に勝つことの意味や難しさ、必要なことなど、競技以外の面においても成長できただのではないでしょうか。

平成28年10月28～29日

東海高等学校新人陸上競技大会

<男子>	
円盤投 遠山 諒	22位
<女子>	
棒高跳 改田彩華	15位
足立美菜	16位

平成29年6月16～18日

東海高等学校体育大会 陸上競技

<男子>	
円盤投 遠山 諒	22位
砲丸投 //	22位
<女子>	
棒高跳 改田彩華	10位

平成29年8月26～27日

東海陸上競技選手権大会

<男子>	
円盤投 遠山 諒	20位
砲丸投 //	25位
<女子>	
棒高跳 改田彩華	NM
足立美菜	17位

※NM 記録なし

平成29年10月28～29日

東海新人陸上大会

<男子>	
円盤投 遠山 諒	16位
砲丸投 //	22位
<女子>	
やり投 加藤茉南	20位



→

平成三十年二月十一日（日）に多治見市文化会館にて行われた、第三十五回東海選抜高等学校ギター・マンドリンフェスティバルに出場しました。普段から参加している、地域のお祭りや演奏会とは異なる大きなホール、たくさんのお客様の前での演奏でした。部員たちは楽屋で緊張した様子でしたが、いざステージに登場すると、堂々とした表情で日頃の練習の成果を披露しました。曲目は、マリオ・マチヨッキ作曲の「ミレーナ」という美しい曲です。結果は努力賞で、残念ながら次の大会へは進むことができませんでしたが、部員たちにとって良い経験になつたと思います。

ギターマンドリン部



恵那南高校の進路状況 (平成28年~29年度)

就職

地区	所在地	企業名	H29					H28				
			製造技能	事務	販売	サービス	他	製造技能	事務	販売	サービス	他
県外	名古屋市	日本郵便(株) 東海支社		1					1			
		(株)東谷(株)									1	
		(株)札幌かに本家				1						
	豊田市	ビューテック(株)	1					1				
	豊橋市	(株)甲羅				1						
	日進市	(医)福友会 福友病院									1	
	東京都	(株)パロックジャパンリミテッド								1		
		(株)ファイブフォックス			1							
	長野県	特殊精鉄(株) 銀光事業部									1	
	神奈川県	(株)日陸 横浜物流センター					1					
東濃地区・県内	恵那市	愛岐工業(株)	1									
		青山観光(株)								1		
		明知ガイシ(株)	2					1				
		明智セラミックス(株)	1					1				
		明知・大成化工(株)	1									
		(有)岩島屋							1			
		岩村三協(株)							1			
		(株)恵那川上屋			1							
		恵那機器(株)	1									
		恵那東海理化(株)	1					1				
		昭和包装工業(株)	1									
		千代田電子工業(株)	1					1				
		東濃コア一(株)						1				
		瑞陵精機(株)	1									
	中津川市	明光化成工業(株)	1					1				
		本多金属工業(株)	1									
		(株)ユーセラミック	1									
		ユニオン機工(株)						1				
		(株)山本製作所 恵那工場						1				
瑞浪市	(株)良平堂	1										
	(株)トキワ	1										
	西村梶包倉庫(中部物流センター)					1						
	東美濃農業協同組合		2					1				
	今井建築									1		
	(株)クラウンカントリー				1					1		
	(医)仁誠会 大湫病院				1							
	丸理印刷(株)	1										
	(医)瑞岐会				1					1		
	(株)瑞浪精機	1					2					
土岐市	新興窯業(株)							1				
	(医)慈杏会 熊谷医院									1		
岐阜市	(株)十六銀行							1				

進学

種別	学校名	H29	H28
四年制大学	岐阜大学		1
	愛知大学		1
	愛知東邦大学	1	
	愛知学院大学		1
	岐阜経済大学	1	
	同志社大学		1
	中京学院大学	2	
	名古屋商科大学		1
短期大学	日本福祉大学	1	
	愛知文教女子短期大学		1
	東海学院大学短期大学部	1	
	中京学院大学短期大学部	1	
	名古屋経営短期大学部	1	1
国公立	岐阜県農業大学校	1	
	岐阜県立多治見看護専門学校	1	1
専門学校	JA岐阜厚生連看護専門学校	1	
	あいちビジネス専門学校		1
	愛知美容専門学校		1
	キクチ眼鏡専門学校		1
	中部国際自動車大学校		1
	東京IT専門学校名古屋校	2	
	中日本航空専門学校	1	
	名古屋医健スポーツ専門学校	1	
	名古屋工学院専門学校		1
	名古屋製菓専門学校	1	
	名古屋デザイナー学院		1
	名古屋デジタル工科専門学校		1
	名古屋動物専門学校	2	
	名古屋ビジュアルアーツ専門学校	1	
	名古屋ユマニテク歯科製菓専門学校	1	
	名古屋リゾート&スポーツ専門学校		1
	ニチエイ調理専門学校		1
	日本デザイナー芸術学院	1	
	まつがげ看護専門学校	1	1

平成二十八・二十九年度の本校生徒の進路状況を掲載します。二十八年度は四十四名、二十九年度は五十名と、近年では最も少ない卒業生徒数になりました。卒業生のうち六割が就職、四割が進学です。地元就職を希望する者も多く、就職者のうち八割が県内就職です。難関企業にチャレンジする者も少なく、安全志向の様子が見て取れます。進学先については多岐にわたっています。緩やかな経済状況の回復とともに働き方改革や労働力不足が叫ばれる中、科目産業社会と人間」や「総合学習」の時間で働くこととの意味や意義を考えさせることが、進路意識の醸成につながると考えています。

平成30年度同窓会役員

役職名	地区	氏名	出身校 (卒業年)
会長 1		根崎 育郎	岩村 昭47普
副会長 6	岩村地区	水野 利美	岩村 昭46普
	明智地区	寺澤 道臣	明智 昭40商
	山岡地区	松村 通男	岩村 昭42農
	上矢作地区	石川 裕章	岩村 昭57普
	恵那地区	可知 良商	岩村 昭44普
	瑞浪地区	小木曾光佐子	明智 昭48商
会計 1	涉外部	須貝祐里恵	
理事 15	岩村地区	籠橋 美憲	岩村 昭55普
		土屋 純子	明智 昭47商
		服部 将之	恵那南 平24南
	明智地区	堀 君史	岩村 昭48普
		中村 俊彦	明智 昭59商
		中村 恵奈	恵那南 平25南
	山岡地区	安藤 孝光	岩村 昭57普
		市川 潤	恵那南 平24南
	上矢作地区	石川 義朗	岩村 昭43普
		三宅 武利	明智 昭51商
	恵那地区	古里 芳伸	明智 昭54商
		鈴木 裕子	明智 昭44商
	中津川地区	吉田 あけみ	明智 昭48事
		黄地 まどか	恵那南 平24南
		後藤 栄作	岩村 昭62普
		大島 政樹	明智 平7商
顧問	学校長	林 尚志	
相談役 4		梅村 吾三	明智 昭38商
		小松 房行	明智 昭37商
		勝 正憲	明智 昭38商
		度会 敏彦	岩村 昭39普
事務局	涉外部	深瀬しのぶ	岩村 平6普

平成30年度 同窓会総会

平成30年6月23日(土)雨天の中岩村藩校知新会館跡地に建つ、旧岩村高等学校同窓会館『知新会館』にて、平成30年度同窓会総会が開催されました。

同窓会総会が開催されました。同窓会会长の挨拶に続き林校長より、恵那南高等学校の現状と魅力化事業、今後の取り組みについてのプレゼンテーションがありました。恵那市を含め各方面からの協力を得て事業がすすめられていることや、生徒数の減少による系列変更、地域が地域の高校生を育てるプロジェクトなど、各方面的に紹介されました。

告・收支報告、および監査報告が行われ、平成30年度同窓会役員案と事業計画案・予算案が提出され、承認されました。役員の一覧と予算案はこのページ内に紹介があります。昨年度は10周年記念行事が厳粛かつ盛大に開催され、新たなる10年へのスタートがきられました。総会では若い卒業生から、在学時に身についた挨拶やコミュニケーション能力が、実社会でとても役に立っていることの報告がありました。これからも恵那高等学校の地域における役割を十分に考えた支援を行えることを願っています。



同窓会総会

平成30年度 恵那南高等学校同窓会予算書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

単位:円

収入の部	項目	30年度予算額	摘要
繰越金	3,498,355	前年度繰越金	
入会金	330,000	5,000円×66名(平成30年度卒業生)	
年会費	1,000,000	平成30年度年会費として	
負担金	0		
繰入金	0		
雑収入	145	預金利息等	
合計	4,828,500		

支出の部

項目	30年度予算額	摘要
管理運営費	265,000	
旅費	10,000	旅費として
会議費	70,000	同窓会総会、役員会費
消耗品費	35,000	卒業生へ賞状ケース贈呈
通信費	150,000	総会・役員会案内・年会費納入お礼状等
会報発行費	1,500,000	会報発行、データ受取費用
印刷費	100,000	学校パンフレット補助
生徒報奨金	30,000	10,000円×3人
慶弔費	50,000	慶弔費
予備費	2,883,500	予備費
合計	4,828,500	

予算の流用については会長の専決による

同窓会から 生徒を表彰

範となつた生徒です。原則として各学年から各1名です。

毎年、卒業式前日に「同窓会入会式」を行っていますが、同日「同窓会表彰」として3人の生徒に対し、表彰状と副賞を同窓会長から贈呈しています。

・部活動に努力し、顕著な成績を上げた者。
・学業に努力し、優秀な成績を上げた者。
・生徒会活動等に活躍し、顕著な貢献をした者。
表彰する生徒はこのいずれかに該当し、かつ、他の生徒の模

28年度は次の3人でした。
(1年次生) 西尾 美波
(2年次生) 石本 彩華
(3年次生) 根崎 恋司
また、同窓会では卒業する生徒一人一人に、卒業証書を納めるフォルダーを記念品として贈呈しています。